

学習や生活に関する改善プラン

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です。

本校は、全国学力・学習状況調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。
なお、さらに詳細な結果について、調査対象の学年に配付することとしています。

【全国学力・学習状況調査結果の概要】

成果

令和3年度実施の全国学力・学習状況調査の国語では、目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付けたり、中心となる語や文を見付けて要約したりすることについての記述式の問題が全国平均を上回る正答率でした。これは、朝学習や各教科の授業の中で、繰り返し書く活動の機会を設けたことが結果に表れてきたものと思われます。算数では、問題解決のために必要な数値を選び、その求め方と答えを記述したり、基準量を1としたときに比較量が示された小数に当たる理由を記述したりすることについて、全国平均を上回る正答率でした。これは、式の意味を明確にし、筋道を立てて考え順序良く説明する活動を通して培った力が結果に表れてきたものと思われます。

質問紙調査の結果から、「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」の設問では、「している」と「どちらかといえば、している」と回答した児童は81%と、5年生のときの岡山市学力アセスの調査結果と比較し、11ポイント上昇していました。これは、年4回の学力パワーアップ週間で、自分で計画を立てる機会を繰り返し設定したことが、結果に反映されたものと思われます。

課題と対応

国語では、文の中における修飾と被修飾との関係を捉えたり、文章全体の構成や展開を考えたりすることにおいて、正答率が低く課題が見られました。そこで、国語の授業の中で文法事項を繰り返し確認したり、文章の構成の工夫の良さを考えたりする機会を設けたいと考えています。算数では、棒グラフや帯グラフで表されたデータからその特徴を読み取ることに際して、正答率が低く課題が見られました。算数の授業や宿題等で、グラフに関する問題を解く機会を意図的に設けるなどして、グラフを読み取る力の定着を図っていきたいと考えています。

質問紙調査の結果からは、「普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、勉強のために使っていますか」の質問に対し、30分以上使っている児童の割合が全国平均を下回っていました。学校には1人1台のICT端末が配備され、使用機会は確実に増えています。多様な場面で活用する機会を意図的に設定し、学習効果を高める使用法を工夫していきたいと考えています。

【保護者・学区の方へのお願い】

質問紙調査の結果から、朝食を毎日食べたり、同じ時刻に起床・就寝ができていたり、家庭での規則正しい生活や家庭学習の習慣が身に付いてきていることが分かります。また、テレビゲーム（コンピュータ・携帯・スマートフォンも含む）等をする時間も短く、メディアとのよい距離感をもち生活できています。引き続き、児童のよりよい生活習慣の確立のための取組を学校と家庭とで連携し進められるように、ご協力をお願いいたします。

令和3年度学習や生活に関する改善プラン（岡山市学力アセス）

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です

本校は、岡山市学力アセスの調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

【岡山市学力アセスの調査結果から】

成果

	教科・質問紙	成果
第4学年	国語	文の構成（主語と述語）について理解している。
	社会	絵地図と比較して、地図記号を用いた地図の利点を判断している。
	算数	4けたの整数の大小について理解している。
	理科	電気の通道路の学習において、目的に合わせた回路を組むことができる。
	学習状況	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っている。
第5学年	国語	漢字や文末の書き方に気を付けて、指定された字数内にまとめることができる。
	社会	ごみの減量や防災について、自分にできることを考え、表現することができる。
	算数	長さ・変わり方・割合のきまりを見つけることができる。
	理科	水にぬれたタオルが軽くなった理由について、水の蒸発をもとに説明することができる。
	学習状況	友達と話し合う活動を通じて、考えを深めたり、広げたりすることができている。

課題とその対応

	教科・質問紙	課題	対応
第4学年	国語	ローマ字の綴り方の理解や、文章の内容を正しく読み取ることに課題がある。	<p>国語では、朝学習等でローマ字を復習する。また、文章中のキーワードに着目させることで、正しく読み取りができるようにする。</p> <p>社会では、資料を活用する際に言葉の意味を確認した上で、資料から読み取ったことを発表する場を意図的に設定する。</p> <p>算数では、朝学習等で図形の性質を復習する。また、計算練習に繰り返し取り組むことで計算力の定着を図る。</p> <p>理科では、教具を活用する機会を増やし、観察・実験等の体験的な学習の充実を図る。</p> <p>学習状況については、年4回設定している学力パワーアップ週間を、自分で学習計画を立てる機会として活用し、家庭での時間の使い方や定期的に見直すことができるようにするとともに、「自分から進んで取り組めた」と実感できるようにしていきたい。</p>
	社会	複数の資料を関連付けて考え、読み取れることを表現することに課題がある。	
	算数	円の性質の理解や、正しく計算することに課題がある。	
	理科	アゲハの幼虫の食べ物や方位磁針の読み方を理解することに課題がある。	
	学習状況	家で自分で計画を立てて勉強している児童の割合が低い傾向がある。	
第5学年	国語	修飾語・被修飾語の関係を理解することに課題がある。	<p>国語では、既習事項を確認する場面を設けるなど、機会をとらえて文法事項を繰り返し確認する。</p> <p>社会では、発表の場を意図的に設定し、目的をもって複数の資料を読み取る意識を高める。</p> <p>算数では、朝学習等で大きな数について繰り返し復習し、定着を図る。</p> <p>理科では、教具を実際に活用する機会を増やしたり、実験を通して自然事象の理解を深めたりする学習活動を大切にする。</p> <p>学習状況については、特定の教科等に限らず、生き方や働くことの素晴らしさについて、自分のこととして考える機会を意図的に設定していきたい。</p>
	社会	複数の資料を関連付けて考え、読み取れることを表現することに課題がある。	
	算数	4けたの整数の大小について理解することに課題がある。	
	理科	星座早見の使い方や金属のあたたまり方についての理解に課題がある。	
	学習状況	将来の夢や目標をもっている児童の割合が低い傾向がある。	

【保護者・学区の方へのお願い】

「学力パワーアップ週間」には意欲的に家庭学習に取り組んでいます。それ以外の期間も同じように取り組むのは難しいようです。昨年度から「家庭学習の手引き」を改訂し、授業の振り返りを自主学習に取り入れることを提案しています。授業のノートをもとに、自主学習ノートにまとめ直すことは、学習内容の深い理解や定着につながると考えています。ご家庭でも、「家庭学習の手引き」を活用した取組となるように声かけをお願いします。